

令和5年度第2回 名張市地域公共交通会議 議事概要

日 時 令和6年2月1日（木）

午後3時00分より

場 所 名張市武道交流館「いきいき」多目的ホール

出席者：（敬称略）

（1）委員

堀越 光春 （市民公募）

澤田 恭子 （市民公募）

古谷 久人 （地域づくり代表者会議副会長）

喜多村 明美 （名張市老人クラブ連合会女性部副会長）

山根 秀生 （名張市身体障害者互助会事務局長）

中平 恭之 （近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科教授）

樋口 恵一 （大同大学工学部建築学科准教授）

平岡 祐一 （三重交通株式会社伊賀営業所所長）

橋本 智幸 （株式会社メイハン取締役部長）

前田 敦志 （一般社団法人三重県タクシー協会伊賀支部支部長）

久保 博嗣 （近畿日本鉄道名張駅駅長）

豊永 育子 （公益社団法人三重県バス協会）

尾上 義文 （三重交通労働組合伊賀支部支部長）

松永 全 （代理出席、伊賀建設事務所保全室）

田畑 賢一 （名張警察署交通課課長）

前葉 光司 （国土交通省中部運輸局三重運輸支局首席運輸企画専門官）

松島 昇平 （代理出席、三重県地域連携部交通政策課主事）

中村 岳彦 （名張市副市長）

伊集院 時仁 （名張市都市整備部部長）

吉岡 恵子 （名張市地域環境部部長）

（2）オブザーバー

田中 真一 （三重交通株式会社伊賀営業所総務係長兼営業係長）

（3）事務局

都市整備部 都市計画室 3名

会議の公開・非公開：公開

傍聴人：2名

議 題

協議案件1 令和5年度上期の取組と今後の取組について

名張市地域公共交通会議の事業取組報告について

令和5年度上半期コミュニティバスの利用状況について

市街地循環型コミュニティバス「ナッキー号」の乗り込み調査の結果について

国津コミュニティバス「あららぎ号」の乗り込み調査結果について

報告案件1 名張市地域公共交通会議道路運送法の開催報告について

報告案件2 名張市地域公共交通計画の評価等結果について

その他 地域間幹線系統について

議事内容

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

協議案件1 令和5年度上期の取組と今後の取組について 審議結果：【承認】

(事務局より資料に基づき説明)

座 長 ご説明いただきました内容に関しましてご意見ご質問はございませんでしょうか

委 員 資料1-1「名張市地域公共交通会議の事業取組報告について」の「事業10：観光振興のための公共交通利用促進策の実施」について、コミュニティバスを観光利用することで生活利用に少し影響が出てしまったとのことだが、利用者数が15回で149名ということで感触的には良いものであると思うので、今後うまく利用できたらいいと感じました。

事務局 先の名張市地域公共交通連携協議会において、観光目的に実施した事業のため地域の方以外にも乗っていただくことで乗車定員を超えることが懸念され、あまり大きく周知はできなかつたと聞いております。今後の展開や来年度以降の継続実施については、定員の問題や生活利用に影響がでないかが課題とされていますので、地域の中で慎重に検討していきたいと報告を受けております。

座 長 その他ございませんでしょうか。

委 員 ほっとバス錦の観光利用についてこの会議で知り乗車しました。土日の赤目までは混むと思っていたが路線バスとは異なり山手を通る道で影響は少ないと思われた。今後も期間限定で実施いただけないかなと思いました。

事務局 ありがとうございます。

委 員 ナッキー号乗り込み調査においていただいた要望・ご意見に、ICカードの導入や電子マネーを使用したいという回答があり、対照的に年間パスポートがほしいという声も挙げられている。すぐにICカードへの移行が困難な場合、例えば1か月のパスポートを作成するのはできないでしょうか。

事務局 ICカードの整備については、8月にもご意見いただいており導入に向け検討もすでに始めております。ただ、年間パスポートについては検討にも至っていないと思いますの

で、並行して検討材料にさせていただきたいです。

- 委員 先の名張市地域公共交通連携協議会でもあげられましたが、地域のコミュニティバスは、名張市地域コミュニティ交通推進方針に基づき、名張市地域コミュニティ交通運営事業費補助金により運行をしておりますが、この方針は19年に制定されて以降内容がそのままである。現在、バスやタクシーの運転手の人手不足や人件費の高騰の問題があるが、運行協議会が委託先の交通事業者と契約した金額について、そのままきているところも多いかと思えます。この間、様々な背景より交通事業者の経費が上がっていることもあり、そのしわ寄せが交通事業者にきているという話も伺っている。市の予算も関わるのですぐに検討するのは難しいかもしれませんが、方針の見直しについては、新計画において定める「事業13：持続可能な公共交通の維持に向けた仕組みづくり」に含まれると思うので、見直しの項目の一つとして挙げる必要があると思えます。コミュニティバスは、市民の方も必要であると思っているので維持していくために検討をお願いします。
- 事務局 補助金の制度は、自主運行をするために一律上限300万円としておりますが以前決めた根拠については確認する必要があると思えます。運行形態の検討と並行して、交通事業者様の負担にならないよう適正な設定の検討を進めていきたいと思えます。
- 委員 交通事業者様と事務局で連絡会や情報共有は諮られているのでしょうか。今後三位一体となっていく上でどうアプローチするかを参考にお伺いしたい。
- 事務局 地域間幹線系統については、伊賀地域のチームワーキンググループという形で交通事業者や関連市町村が参加させていただいており情報共有を図っている。
- 座長 交通事業者様との関わりとして、三重交通様にご協力いただき、バスの利用促進に向け研究の一環で学生とともにバスの乗り方動画を作成させていただきました。来年度も引き続き作成したいと考えております。
- 委員 上半期の利用者数はコモコモ号6.4人/日、はたっこ号26.1人/日である。ナッキー号乗り込み調査の結果をみると、ナッキー号と各コミュニティバスの乗り継ぎ1週間の乗り継ぎ状況は、コモコモ号は5人、はたっこ号は21名となっているので、乗継については注意していただけたらと思えます。
- 事務局 ナッキー号の運行について、11月からダイヤとルートを変更しているが朝夕の通勤ラッシュの影響等により遅延が発生している状況です。今後もう一度ダイヤの見直しを検討しておりますので、その際各地域コミュニティバスとの接続については配慮したいです。

報告案件1 名張市地域公共交通会議道路運送法の開催報告について

(事務局より資料に基づき説明)

- 質問、意見なし

報告案件2 名張市地域公共交通計画の評価等結果について

(事務局より資料に基づき説明)

委員より表記の修正について、ご指摘いただき修正については事務局一任とさせていただきます

す。

地域間幹線系統について

(三重県地域連携部交通政策課より資料に基づき説明)

●質問、意見なし

「旅客運送2024年問題への対応」について

(国道交通省中部運輸局三重運輸支局前葉委員より資料に基づき説明)

●質問、意見なし

事務局 長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。